

交通まちづくり公開講座

地域モビリティとLRTを考える

自宅からの通勤通学、買い物、通院の足をどのように体系的に確保していくか。南砺市で始まった地域モビリティ創造の動きと、基幹公共交通機関である城端・氷見線のLRT化検討に合わせ、地域交通の未来を考える講座の2回目。

次世代型路面電車と訳されるLRTにもさまざまな形があり、福井県では路面電車と鉄道が相互乗り入れするLRTが走っています。それらの先進的な事例を学びながら、城端・氷見線の将来を探ります。

【第2回】 LRTによる公共交通の活性化編

2021年2月7日(日)14:00～

解説 「さまざまなLRTのかたち」

本田 豊 氏 (富山大学都市デザイン学部教授)

略歴:1962年富山県(旧福野町)生まれ。1984年神戸大学工学部卒業後、建設コンサルタント、兵庫県職員を経て、2018年4月から現職。呉西地区交通まちづくり市民会議顧問。専門は交通政策、交通まちづくり。著書に、『路面電車とまちづくり』(共著)、『LRTによる新しいまちづくりを実現するために』『日本におけるLRT整備の課題』ほか。

講演 「公共交通の再評価と福井のLRT

～ 城端線LRT化に向けて ～

松原 光也 氏 (全国バスマップサミット実行委員会事務局、

NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会理事)

略歴:1969年、京都市生まれ。関西大学大学院文学研究科博士課程修了。2009年、関西大学博士号(文学)取得(専門:交通地理学、GIS、観光、まちづくり)。京都大学大学院交通政策研究ユニット特定助教、WILLER TRAINS(株)旅客部係長などを歴任。市民団体での活動を長く続けている。著書に『地理情報システムによる公共交通の分析』(RCSS叢書第10巻、多賀出版)など。

◇会場 福野文化創造センターヘリオス・アートスペース

◇定員 各回60人(先着順) 申し込みはQRコードから ⇒

呉西地区交通まちづくり市民会議ホームページ

(<https://koutsukaigi.tonamino.info/>)からも受け付けます。



主催:南砺の城端線を活かす会

共催:呉西地区交通まちづくり市民会議 お問い合わせ:☎090-6273-3195

※コロナ感染状況により、オンライン開催などに変更する場合があります。メールでお知らせいたしますので、ご注意ください。

※【第1回】少子高齢化時代の地域モビリティ編「お出かけの危機と地域モビリティの作り方」の録画、資料をホームページに掲載しました。